

活動例 2

6 年生 「ベストパートナーを見つけよう ♪」

♪ ねらい

同じ和音進行に支えられている旋律は響き合うことを感じる。

コード進行を基に作った曲のひびき合いをかんじる。

♪ 活動時期

6 年生 和音コードを用いての作曲（教育出版「和音にふくまれる音を使って旋律を作りましょう」p. 26, 教育芸術社「じゅんかんコードから音楽をつくろう」p. 22）の学習後に行います。

♪ 流れ

活動	内容	ねらい
1. パートナーソングを知る。	別の曲や別の旋律だけど、重ねるとひびき合って聞こえることがあることを伝えます。「小さな世界」（作詞作曲 シャーマン兄弟）の前半部分と後半部分のように、みんなが知っている曲を例にあげるとよいでしょう。このような曲をパートナーソングと呼ぶことを共通に理解しておきます。	響き合いを感じる。
2. 『パートナーソングをみつけよう！』で遊ぶ。	まず、旋律のみを聴いて、パートナーソングを探します。次に、「和音あり」にチェックを入れて確認してみよう。 (付属のワークシートをお使いください。)	二つの曲と和音の響き合いを感じる。
3. パートナーソングの成立条件について知る。	「パートナーソングとは、同じ和音進行に支えられているため、同時に歌ったり聴いたりしても響きが合う曲」という、パートナーソングの成立条件を伝えます。	和音が一緒なら、旋律が違ってても響き合うということを知る。
4. ベストパートナーを見つけよう。	前時に作った曲がパートナーソングになっていることを確認する。班の中で、旋律の様々な組み合わせを試奏し、もっともよくひびき合って聞こえるパートナーソングや、おもしろい響きだと感じるパートナーソングを探す。	自分たちの作った曲の響き合いを感じることができる。